

国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新

セッション4：アジア金融インフラの革新 ～新しい決済システムのあり方について～

決済システムの改善に向けた日本銀行の取組み

宮内篤

日本銀行決済機構局長

概要

まず、決済システムの効率性・安全性の向上に向けた日銀の近年の取組みを紹介する。日銀は最も安全確実な決済手段を効率的に社会に提供する役割を担っており、日銀ネットの機能向上に努めてきた。とくに、RTGS 処理の対象拡大を進め、昨年 11 月までに金融機関間の大口資金決済すべてをカバーした。構築中の新日銀ネットでは、最新の IT 技術を用いて柔軟性やアクセス利便性の向上を図っている。この間、オーバーサイトを通じて FMI にリスク管理向上を働き掛け、また BCP の充実を促している。さらに、外為の PVP 取引や証券の DVP 取引の拡大に参画してきた。

続いて、リーマンショックや東日本大震災といったストレス下で示されたわが国決済システムの頑健性を振りかえるとともに、そうした中で明らかとなった課題について敷衍する。